

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所P-S		
○保護者評価実施期間	令和6年10月16日		令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和6年10月16日		令和6年10月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月20日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ニーズを良く聞き取りつつ、子ども一人ひとりの発達や特性に合わせた支援の提供に努めていること。	毎回、保護者と振り返りの機会を設けているのでニーズ等を聞き取る機会が多いと思われます。ニーズを聞き取りつつ、子どもの発達や特性に合わせて活動設定を検討し、発達支援を提供するようにしています。その際には、検討した目標が達成できるようにスモールステップで段階的に活動を実施するようにしています。また、楽しみながら活動に参加できるような設定や関わりも検討するようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的にニーズを聞き取れるように、日頃からコミュニケーションを密にとっていきたいと思っています。 ・子ども一人ひとりの好みや得意な点を十分に把握し、活動内容に反映させていきたいと思っています。 ・職員の専門性向上のために、内部研修等を継続して実施していきます。
2	日々の支援の中で保護者との情報共有を多く実施していること。	保護者に対して毎回、活動内容や目的、進捗状況等を説明しています。また、家庭や園などの情報を聞き取り、必要に応じて活動に反映させるなどしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も保護者と情報を共有していけるように、説明や聞き取りを継続して実施していきます。 ・より多くの利用者に満足いただけるように、より丁寧な対応を心がけていきます。 ・祖父母の送迎により、直接父母と話す機会が少ない利用児もいるため、メッセージアプリ等を活用してよりコミュニケーションをとっていきたいと思っています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報の発信について。各種マニュアルやそれに基づいた研修、訓練、地域との連携等、実施していることでも保護者評価の結果を見ると、十分に周知できていないと思われる。	各種マニュアルに基づいた研修内容等は、事業所内に掲示板を設置し、そこに実施した研修や訓練等の必要な情報を掲示するようにしたことで、前年度に比べると情報の周知はできるようになったと思われます(保護者評価の「はい」の割合が増加したため)。ただ、「わからない」の回答もまだあるため、何らか情報発信の方法を検討する必要があると思われます。	研修等の報告、案内などは既存の掲示板だけでなく、メッセージアプリの活用など、一人ひとりに、より情報が伝わるための方法を検討していく必要があると思われます。その他、各種情報は個別に対応し情報を伝えるようにしていることで、その内容をより充実できるように、職員間での情報共有をより密に行い、対応に反映させていきたいと思っています。
2	園など、地域との連携について。	相談支援事業所との情報共有、要望に応じて園等の会議の出席、見学の受け入れ、就学先への情報提供などを実施していますが、保護者に対して十分に情報が周知できていなかったかもしれません。	情報を周知しつつ、改めてニーズを具体的に聞き取っていきけるように、日頃から密にコミュニケーションをとってきたいと思っています。
3			